

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

建設業界は今後間違いなく変化する。その中で生き残るためのキーワードは人々の価値観を変える SDGsの実践だ。SDGsの考え方である精神的な豊かさや価値観が合う生き方・共感社会になっていくという動きを理解し自社の強み(コア・コンピタンス)やあるべき姿(存在意義)を考え持続的成長につなげる。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	産業廃棄物の削減 ・設計に含まれていないものも含めた産業廃棄物の総量を削減する。	産業廃棄物の削減 一現場あたり 2023年 21.3t → 2026年 20.24t(5%削減)
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	電力と水資源の節約 ・電力の使用時間を少なくするために、残業時間を減らす取り組みを行う。電力使用量の削減を目指すとともに、効率のいい業務による、働き方の改善に取り組む。 ・水資源の保全に取り組むため、各現場事務所において雨水タンクを設置し、雨水をトイレの排水に利用する。	電気使用量 一現場あたり 2023年 405.6kwh → 2026年 385.3kwh(5%削減) 水資源の保全 2023年 雨水タンク一部現場設置 2026年 全現場設置(2024年設置を目標)
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	総印刷枚数の削減 社内様式の自動入力化を促進してミスプリントを防ぐ仕組みを作る。加えて、ペーパーレス化の促進も行う。	印刷枚数 一現場あたり 2023年 1842.3枚 → 2026年 1750.2枚(5%削減)

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

・熊本県と熊本市の清掃ボランティアを毎年各一回づつ参加し、年末には自主活動として地域の清掃ボランティアを行っている。
・国土交通省、熊本県、熊本市と災害協定を締結しており、災害時に早急に対応できる体制を整えている。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	産業廃棄物の削減 ・設計に含まれていないものも含めた産業廃棄物の総量を削減する。	2020年度は設計に含まれているものと含まれていないものをまとめて集計していたが、2021年度からは個別に集計を行うことにより内訳を詳細にすることができ、削減項目を容易に選定することができると考え2023年度から10%の削減を目標とする。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・分別やリサイクルを積極的に行った。	2020年度→30.5t 2023年度→21.3t(30%削減) ※総数量では現場数で増減するため、1現場あたりで、なるように計算しました。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	電力と水資源の節約 ・電力の使用時間を少なくするために、残業時間を減らす取り組みを行う。電力使用量の削減を目指すとともに、効率のいい業務による、働き方の改善に取り組む。 ・水資源の保全に取り組むため、雨水をトイレの排水に利用する。	・電気使用量 2022年度 6567kWh →2023年度 5910kWh(10%削減) ・2023年度までに、現場に雨水タンクを設置し、トイレの排水に利用する。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・残業時間を減らす呼びかけや、こまめな節電を行い電力の削減を行った。 ・雨水タンク設置をできていない現場もあったため全現場設置を目標にする。	2020年度→547.3kwh 2023年度→405.6kwh(26%削減) ※総数量では現場数で増減するため、1現場あたりで、なるように計算しました。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	総印刷枚数の削減 ・社内様式の自動入力化を促進してミスプリントを防ぐ仕組みを作る。加えて、ペーパーレス化の促進も行う。	印刷枚数 2020年度 167165枚 →2023年度 142090枚 3年後は社内・社外のペーパーレス化がさらに進むことを考慮し、15%の削減を目標とする。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・社内様式の一部を電子で処理することで印刷枚数の削減を行った。 ・ミスプリントを減らすよう呼びかけを行った。	2020年度→2786.1枚 2023年度→1842.3枚(66%削減) ※総数量では現場数で増減するため、1現場あたりで、なるように計算しました。

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績**を数値を用いて記載してください。